

避難安全に関する性能設計技術

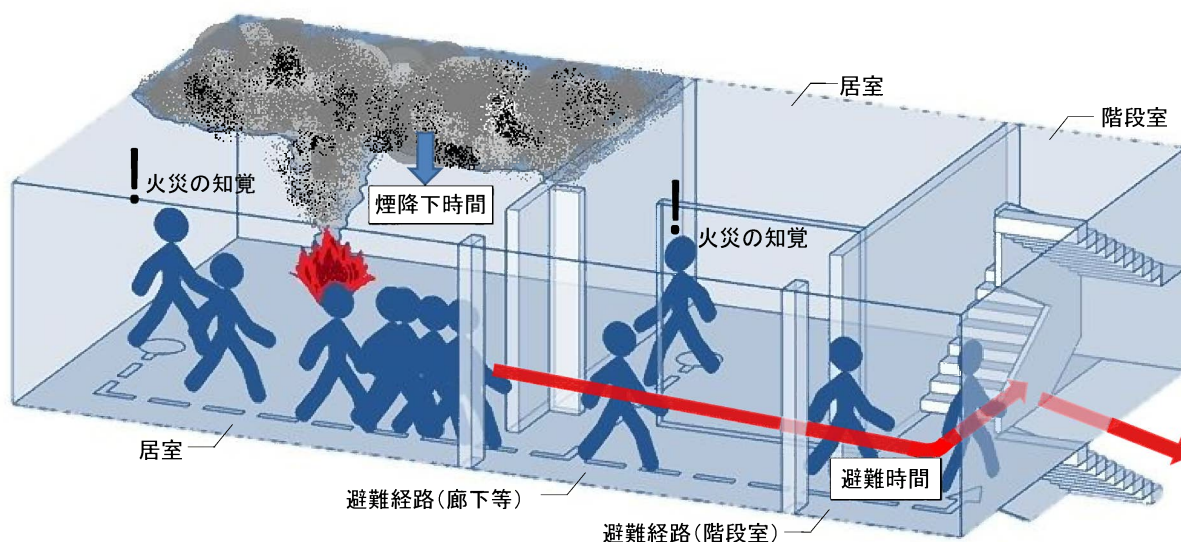
合理的に避難安全性能を検討できます

お客様のメリット

- 避難安全に関する性能を評価するツールにより、コストのみならず、設計の自由度・意匠性に配慮した最適な計画を提供します。
- 避難安全検証法の適用の可否を迅速に判定します

奥村組は、避難安全性能を評価するツールを整備しており、避難安全性能を迅速に判断できます。

これらのツールにより、階段数の削減による利用可能な空間の増大、排煙設備の削減によるコスト低減、防煙垂れ壁設置場所の縮小による意匠性の向上などを検討します。



避難安全検証法のイメージ図

■ 避難安全検証法とは

建築基準法の告示で規定された、建物の避難安全性能に関する検証方法です。建築基準法では、基本的に避難安全に関して仕様規定を定めていますが、この検証法を用いて避難安全性能を確認できれば、仕様規定にとらわれない性能設計による計画が可能です。具体的には、建物内の各所から避難先までの移動時間が、火災によって発生する煙の降下時間より短いことを確認し、建物利用者が安全に避難できることを検証します。たとえば、室の扉幅を適切に設計すると、建物利用者が出口で滞留することなく室外へ移動でき避難時間が短くなるため、煙が降下するまでに室外へ安全に避難ができ、避難安全検証法を適用できることとなります。